

みらい人の住む町

つくばみらい市って、
いったいどんなところ？

PEOPLE

みらいの人

つくばみらい市で活躍する「人」、6人にインタビュー P6

PEOPLE

たのしいソーイング

こどもの身長が伸びて丈が合わないシャツ
裾や袖を付け足してしましましょう P11



新しい暮らし

“みらい人”の住む町

文・神藤秀人

「つくば」「みらい」と聞くと、技術や科学の研究に追われ、宇宙やミクロの世界が広がる先進的で、僕たち常人にはちょっと意味不明？で、プロフェッショナルな人たちが集まる場所……というのは、お隣「つくば市」のこと（誤解があるといけないので、もちろん、つくば市にも素敵な暮らしがあるので、それはまた別な機会でお伝えしたいと思います）。じゃあ、「つくばみらい市」って、一体どんなところ？新しい観光スポットや、知られざる郷土料理、やりがいある仕事や、楽しい歴史探訪……せっかくなので、『未来新聞』編集部と一緒に、つくばみらい市の“新しい暮らし方”について、色々な角度から発掘してみましょう！

関東平野の中心に位置し、日本一の農地面積を誇る茨城県。ここ、つくばみらい市も、江戸時代には関東郡代・伊奈忠治によって開拓され、『谷原三万石』とも呼ばれた場所、かつては農村でした。今でも米どころとされ、皆さんの家でも「コシヒカリ」が主食だったり、「太郎兵衛煎餅」なんて郷土菓子も親しまれています。つくばみらい市は、1960年代、忠治の名前に由来する伊奈地区から住宅開発がはじまり、常磐道、常総ニュータウン、そしてつくばエクスプレス(TX)と、今では、首都圏のベッドタウンとしての性格が強い町ですが、鬼怒川と小貝川が流れる東の広大な低地部は水田地帯で、丘陵地には、畑や森林も多く残っています。いわゆる“平成の大合併”で生まれた市は、市内全域が筑波郡(伊奈町と谷和原村)だったことと、TXの駅名「みらい平」に由来して名づけられたらしいのですが、この名前にこそ、「日本の未来の暮らし」の手本になるべく意志が感じ取れるのは、僕だけでしょうか。

さて、そんなつくばみらい市の魅力は、まだまだ発展途上ですが、何はともあれ、ファミリーにやさしすぎる!? ファミリーといっても、子どものいるご家族だけでなく、ひとり暮らしの学生や、単身赴任のお父さん、そして、田舎に住み慣れたおじいちゃんおばあちゃんにも安心な環境があります。例えば、ひとり暮らしの高齢者には、ボタン1つで通報できる『見守りサポート』や、郵便局員による自宅訪問があります。2020年からは、地元スーパー「カスミ」と連携をとって『移動スーパー』を運行し、生鮮食品や日用品を積み込んだ軽トラックが週5で、約60か所を巡回しています。人間誰もが怪我をしたり、体調も崩しますし、歳だって取ります。外出はおろか、ベッドから起きるのでさえ一苦労、という時のことを想像してみると、こうしたサービスは、やっぱり嬉しいです。一緒に居られない家族も安心ですね。他にも、無料の「病院バス」や、家庭ゴミの回収もサポートしてくれたり、至れり尽くせり。市総合運動公園には多目的広場が整備されていて、ターゲットバードゴルフなど、生涯スポーツ

だって楽しめてしまう。安心・安全な生活ともいえるでしょう。もちろん、子育てにも“やさしすぎる”つくばみらい市。スマートフォンのアプリを使った『生まれる前から子育て』や、2022年には、産婦人科医院が開業予定(県内で10年ぶり)で、産後も助産師さんが各家庭を訪問してくれたりもします。「みらい平市民センター」には、『おやこ・まるまるサポートセンター』も入って、子育てに関する悩み相談もできて、市からは、生まれた赤ちゃんに絵本を贈るサービスも(何が贈られるかはお楽しみ)。そして、医療費助成制度が18歳まで!? さらに、学力向上のために、市内の小学校などで『みらい土曜塾』という学習支援を行ない、子どもたちが安心して過ごせる居場所として、『こども食堂』という活動もあります。

「食」といえば、地元食材をふんだんに使った給食を提供する幼稚園と公立小中学校。食育は食育でも、農家さんの顔が見える食べ物が、日常からいただけるのは珍しいですし、好き嫌いももしかしたらなくなるかもしれませんね。リモート授業を可能にする1人1台のタブレット導入や、グローバルに向けた英語教育の強化支援員……これでもか!というほどの充実したサポートですが、重要なのは、子どもがどんな大人になるかは、それらを上手に利用するセンス次第なのではないか、と僕は思うのです。いつかは自立していく子どもたち。つくばみらい市には、日本を背負っていく未来のキーマンを育てていける可能性があると同時に、それを可能にするための「健全な暮らし方」を、再認識できる場所にもなるでしょう。大袈裟かもしれませんが、それが、この町に住む“みらい人”に託された役目でもあり、そういう“まちづくり”が、これからの日本には必要になってくるはずですよ。

さて、皆さんは、つくばみらい市の中で、十分に“生活”されていますか? ぜひ、この『未来新聞』をきっかけに、ご自身の、ご家族の、“新しい暮らし方”を、考えてみませんか。



みらいの溜まり場

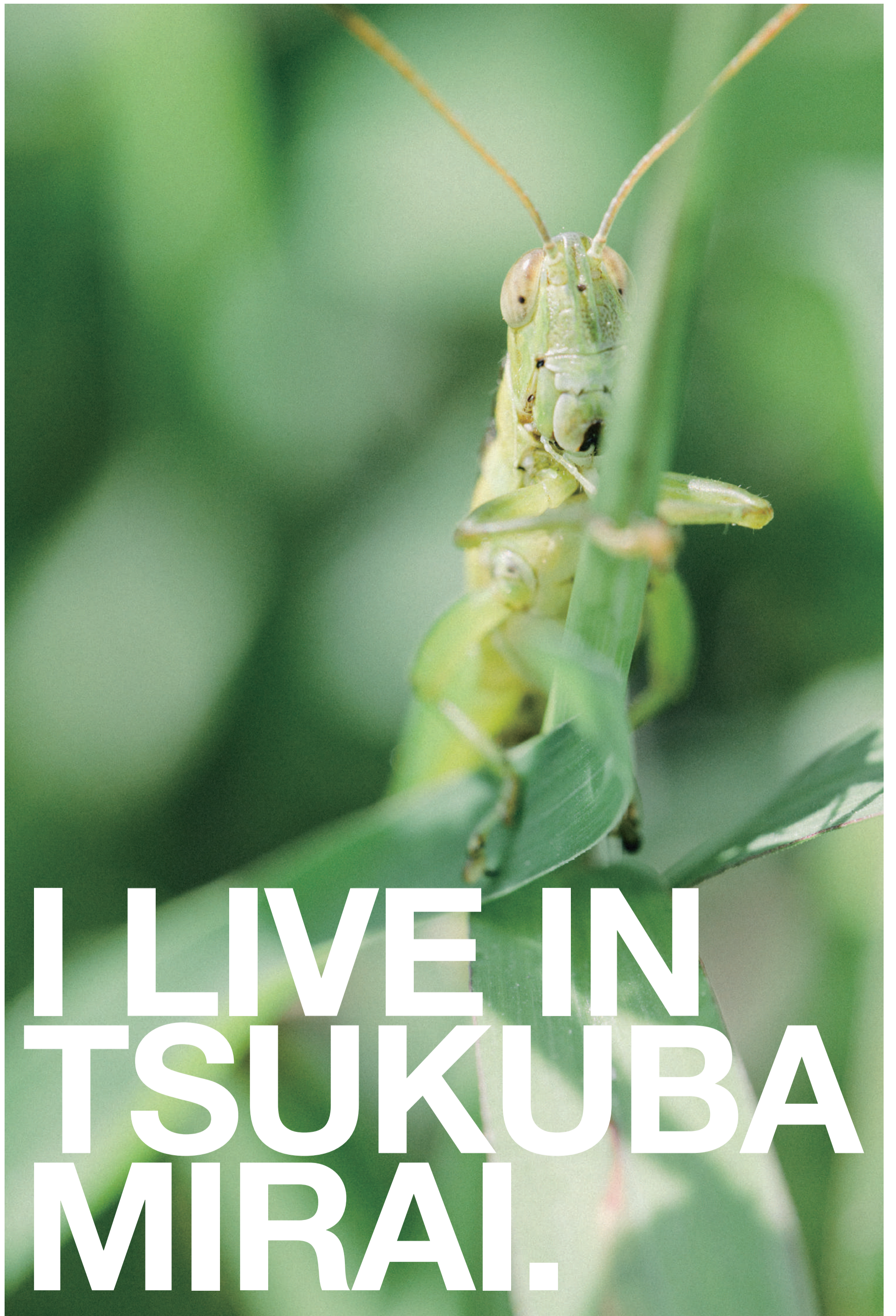
みらい平の町開きから、はや15年。人口も1万5千人を超え、個性もいっぱい。そんな市民が集まり、新しい交流や活動を生む場所として、「みらい平市民センター」が、いよいよ完成(2021年8月24日)します。センターの1階には、各種証明書などの交付といった本庁舎市民窓口の機能に、郵便局が入ります。2階には、「おやこまるまるサポートセンター」が入り、親子に寄り添います。3階には、ボランティア団体や市民活動団体の皆さんを応援する支援窓口。そして4階には、WiFi完備のフリースペースがあり、リモートワークなどにも利用可能。皆さんもぜひ、ご利用ください。

みらいの農業

毎月第1土曜には、地産地消の魅力を発信する『あさのいち』を開催し、若手農業者「つくばみらい4Hクラブ」から、地元で収穫された新鮮で安心な野菜やお米が届きます。米どころ「谷原三万石」とも言われた歴史を守るために、市が農業資材や病害虫対策の費用を助成し、市内産米のコンテストなども開催。さらに、『スマート農業』など、聞きなれないフレーズですが、企業や大学と連携した農業の課題解決などの取り組みも。皆さんの食卓に、これからも美味しい農作物が届くために、町ぐるみで頑張っています。

みらいの感染症対応

新型コロナウイルス感染症拡大を防ぎながら、影響を受けている地域経済や市民生活を支援してきました。中には全国でつくばみらい市が初めて行なうこともあり、もしかするとそれらは、日本の“新しい暮らし方”のヒントになるかもしれません。小中学校では「無料の自動販売機」を設置し、リモートワークに必需のタブレット端末を全生徒へ配布。飲食店では、子育て支援室と一緒に、テイクアウトメニューを開発したり、大変な状況にこそ、笑顔忘れずに取り組む姿勢も、つくばみらい市ならではの。



**I LIVE IN
TSUKUBA
MIRAI.**

編集部“みらい企業”探訪 井関農機 夢ある農業総合研究所

文・神藤秀人



食にまつわるあれやこれ

ホカホカのご飯に、ネバネバの納豆をかけて、口いっぱい
に頬ばる。誰もが想像できる日本の朝食の定番。仕事柄、普
段から日本中を旅している僕は、茨城県を旅した際に、その
ご飯と納豆という“黄金コンビ”に、改めて感動したものです。

日本各地、地元で収穫された野菜や果物、肉や魚などを、
地元で消費する「地産地消」は、今でこそ聞き慣れたフレーズ
ですが、少し前までは、身近なハンバーガーショップでさえ、
どこの何の肉を使っているかもわからない時代でした。しか
し、日本だけでなく、世界中の国が、過剰すぎる利便性に違
和感を覚え、価格競争の激しい時代から、高価でも安全で環
境に良いものを選ぶ意識が芽生え、「地産地消」は、“当たり
前の価値”として、現代の生活に浸透してきています。

そして、「味」についても、今では、さまざまな取り組みが
行なわれています。聞くところによると、茨城県内の研究所
では、「甘い梨」だけを専門にする研究者がいたり、その作物
自身の遺伝子を切ったり書き換えたりする研究「ゲノム編集」
で、GABAを多く含んだトマトを作ったり、もう何がなんだ
かさっぱりわかりませんが(汗)、要は、美味しくて体にいい
物が作れる世の中になったということです。

米どころ・つくばみらい市

現在、米どころと言われる東北や北陸のブランド米も、ス
ーパーで簡単に手に入る時代。「ふるさと納税」で、人気のブ
ランド米を選んだご家庭も多いことでしょう(僕もそう)。け
れども、ここ、つくばみらい市も、実は、江戸時代からの米
どころ。市の総面積の約半分が田んぼという、田園風景に囲
まれた地域で、かつては『谷原三万石』とも言われた場所。長
年この地で暮らしていて、もしかしたら、「米は買ったこと
がない」というご家庭も多いかもしれませんね。農家さん自
身だったり、知り合いの農家さんからいただいたり、僕たち
編集部にとっては羨ましい限りです。

さて、そんなお米の農家さんですが、
僕たちの知らないところで、並ならぬ
苦勞と努力があります。そのうちのひ
とつが、田んぼの見回り。自然災害や
病害虫(なぜかザリガニも多い)によ
って田んぼが荒らされてはいないか、田
んぼに張っている水の量をチェックし
たり、エリアごとに稲を見て肥料の調
整をしたり……雨の日も風の日も、真夏
の炎天下の日も、農家さんたちは、日頃
からお米と向き合ってきているのです。
家の前に田んぼがあるならまだしも、遠
く離れた場所に田んぼがあったり、圃場
(田んぼ)の数だって農家さんによっては
さまざま。1日100キロメートルも移動
するという人もいます。想像しただけで、
大変なのはわかりますよね。

農家さんの味方・ISEKI (キセキ)

お米をはじめとする農業が盛んなつくばみらい市には、そ
んな農家さんの悩みを解決する強力な“パートナー企業”が
あります。その中でも、今回は、特別に「井関農機 夢ある農業
総合研究所」にお邪魔して、お話を伺ってきました。ブランド
としての「ISEKI (キセキ)」の農機(トラクタやコンバイン
など)は、派手なスポーツカーというより、ブルーで、爽や
かなデザイン。ヤンマー(レッド)や、クボタ(オレンジ)と
並んで、日本三大農機メーカーとも言われています。

各社、最新の技術を使った“新しい農業”の先端を走って
いますが、特に井関農機では、つくばみらい市ならではの、お
米の栽培に着目し、2020年から「スマート農業」という取り
組みが行なわれています。いわゆる農業の簡略化で、例えば



水田ファーモの『水位センサー』では、専用の器具を田んぼに
設置するだけで、田んぼの水の量が分かってしまうもの。測
定したものは時間ごとにグラフにしたり、異常が発生したら
お知らせも来ます。また、『給水ゲート』を組み合わせたこと
で、スマートホンで「入水」操作を可能にした自動給水機。
あんなに大変そうだった田んぼの見回りが、それらによって
格段に楽ちんになるのです。

「悩まされる高齢化」ということだけでなく、農家の実家に
嫁いできたお嫁さんにとって優しく、「農業=(イコール)汚
れる・大変」というイメージが、つくばみらい市では、少し
ずつ変わってきているのかもしれませんが。他にも井関農機は、
ドローンでの葉色解析サービス『いろは』や、人工衛星を利用
した生育状況の可視化『天晴れ』などを取り入れています。
農家さんの「目」の代わりに、コンピューターが味や成分、粒
の大きさなどを識別し、自動的に肥料を調整、「美味しい」と
されるお米の平均化を促すというのだから驚きです。

ここまで技術が発展してくると、つくばみらい市で作られ
たお米以外は、もう食べられませんね。さっそく僕も、地元
の農家さんにお米を譲っていただき、自宅で炊いてみるこ
とにしました。農業という先人から伝え継がれてきた生業を、
つくばみらい市という“新しい暮らし”が、さらに成長させて
います。皆さんも、明日の朝食は、つくばみらい市のお米に
してみませんか。

井関農機株式会社 夢ある農業総合研究所

住所：茨城県つくばみらい市青木560
電話：0297-38-5566(総務部)

持続可能な農業を目指します

井関農機は、農業関係でいうと特許取得率は全国一
位*です。新しいことにチャレンジするのが大好きな
会社です。農家さんへの機械提供だけでなく、つくば
みらい市をはじめとする、国や自治体、民間企業との
連携により、画期的なアイデアを創出し、技術、コスト、
品質といった持続可能な農業を目指していきたいと思
っています。オーガニック栽培への取り組みも、リス
クのない形の提案を構築していきたいと思っています。

元気に働く農家さん、美味しいと言ってくれる市民
の皆さんの笑顔が、何より
も励みになります。つく
ばみらい市の未来のため
にも、私たち井関農機
も努力を惜みせず、
これからも頑張っ
ていきたいと思
います。

夢ある農業ソリューション推進部



*日本の特許の登録数は「その他特殊機械分野」で1位

編集部の“みらい企業”探訪 高砂熱学工業 イノベーションセンター

文・神藤秀人

日本初の、超快適な野球場

高校野球の名門「常総学院高校」。知る人ぞ知る、つくばみらい市とフレンドリータウン協定を結ぶ、プロ野球チーム「茨城アストロプラネッツ」——日本人のほとんどが愛して止まない「野球」。プレーヤーもいれば、応援するファンも多く、特に関東近辺の人であれば、一度は観戦のため訪れたことのある「東京ドーム」。言うまでもなく、ミスタージャイアンツこと長嶋茂雄も在籍した、現「読売ジャイアンツ」の本拠地で、日本初の屋根つき球場。僕の世代、もしくはそれ以上の人であれば、東京ドームが出来て、初めて行った時の感動は、今でも忘れられないでしょう。

大雨でも、グラウンドはいつもきれいな人工芝（ちなみに茨城県は「人工芝」の生産量が日本一）、たとえ凍えそうな開幕時も、選手たちは半袖で体調管理も万全。そして、サラリーマンのお父さんたちも、ビールを飲みながら観戦できるナイター設備完備。日本の野球界だけでなく、音楽ライブやさまざまなイベントにも対応できる、全天候型多目的スタジアムは、まさに革命的でした。そして、大阪や札幌にも、ドーム球場ができ、興業収入も往々にして、今もなお、日本の経済の中心にドーム球場あり、とでも言えるかもしれません。

観客からの評価も高いドーム球場ですが、もちろん選手自身からの評価も高い。一年中体温感温度が変わらない快適なグラウンドは、野球場のように外環境に左右されない。厚着をしなくてもいいし、適度に汗もかく。いつでも同じコンディションで、選手のパフォーマンスも最大限に引き出される。

雨や風によるピッチャーの暴投も少なく、虫や鳥などに打球が当たって、ホームランを逃してしまうこともない。怪我も少なく、好プレーも多。まさにプロのための野球環境。そう、それはすべて、ドーム球場に設置された、完璧な空調管理システムのおかげなのです。



撮影：ミヤガワ東京



撮影：ミヤガワ東京

「快適」の先に、 在るもの、在るべきもの

では、ここでいったん、その空調管理について話題を変えましょう。「東京ドーム」だけでなく、最近の建築は、どこに行っても心地よい空間があります。できるだけ雨に濡れないように、エアコンがきいている場所を歩いて目的地に辿り着けないか……誰もが経験したことがあるでしょう。各地に大型複合施設が生まれ、地下街が発達し、そのほとんどに空調設備が施され、どこに行くにも快適な世の中。僕だって、暑い日や寒い日、雨の日には外に出たくないし、人間は、間違いなく「空調（空気調和）」という技術に助けられているのです。

そんな僕たち、わがままな人間のために研究・開発を進めてきた「高砂熱学工業」。企業名を聞いても、ピンとこない人も多いかもしれませんが、実は上記に出てきた、東京ドームをはじめ、「東京駅」「歌舞伎座」など、皆さんにも馴染みある建築の空調設備を担当してきました。もしかしたら……と、思った人は、一度調べてみてくださいね。

未来のための技術革新

2020年、高砂熱学工業は、ここつくばみらい市に、東京にある本社機能の一部と、企画・開発部門、研究施設を集約した「高砂熱学イノベーションセンター」をつくりました。建物全体に太陽光発電と蓄電池システム、バイオマス発電をはじめ、最先端の独自空調システムを配備したサステナブルな設計で、当企業の集大成とも言えるでしょう。働き方や、打

高砂熱学



撮影：小川重雄

合せ内容などに応じて、選べる柔軟性の高いさまざまなワークスペースを設け、中には“茶室”も！？フリーアドレスを取り入れることで、従業員や外部パートナーが働きやすい環境を作っています。

建物は、「オフィス棟」「ラボ棟」「設備展示棟・プレゼンルーム」があり、オフィス棟の1階には、地域に開かれた「展示スペース」と「カフェレストラン」を併設。展示スペースには、技術体験コーナーもあり、革新的な技術力を目の当たりにするでしょう。また、カフェレストランは、現在コロナウイルス感染症対策から営業を見合わせているようですが、5月には、つくばみらい市と『たかさごマルシェ』を共催し、駐車場エリアを利用して、地元の農家さんが野菜を販売するなどしたそうです。また、秋頃には第2回目の開催を予定しているそうです。開催が楽しみです！

また、空調設備の技術を活かした新型コロナウイルス感染症対策の取り組みも進められ、これからの僕たちの暮らしに、さらに役に立つことでしょ。新鮮な魚を、急速かつ均一に冷却し、傷つけずに輸送ができるシャーベットアイス製氷機の展開など、日本ならではの水産業もサポート。海の無い地域で、美味しいお刺身が食べられるのも、やっぱり嬉しいですよ。さまざまな分野から、暮らしに寄り添い、これからの日本の未来に欠かせない技術革新。

オゾン層破壊、水質汚染、温暖化……これまで人間は、少なからず地球を傷つけてきてしまいました。決して、元どおりにすることは、できませんが、現実を知り、現状を少しでも改善すること。それは、これから生きていく、“みらい人”にとっての課題でもあります。高砂熱学工業は、そんな皆さんの未来のために、かならず力になってくれることでしょう。

高砂熱学工業 イノベーションセンター

住所：茨城県つくばみらい市富士見ヶ丘2-19
電話：0297-55-1337

市と協力して地域を発展

2020年8月に、つくばみらい市さんと「みらい都市」の実現に向けた包括連携協定を締結し、教育、防災、コミュニティ、エネルギーなどの分野で取り組みを始めています。これらを通して、地域の皆様と共に持続可能な発展を続けて参りたいと願っております。

研究開発本部
管理部 部長
来田昌弘さん



4Hクラブって？

大木さん、田島さんが所属する「4Hクラブ」とは若手農業後継者で構成される農業青年クラブ。つくばみらい4Hクラブは2021年7月時点、7名で活動しています。

東京生まれ東京育ち、就農前は大手プラント企業のエンジニアとして国内外で活躍されていた大木さん。子どものころから農業に興味があり、大学時代にオーストラリアでファームステイを体験したり、友人の農地で自分で野菜を育てたりしてきました。転機となったのは娘さんが生まれ、家族との時間を大事にできて自分も満足できる仕事として農業をやってみようと思ったこと。つくば市に住むお兄さんからつくばみらい市で農業をしている友人を紹介してもらい、そのご縁で2018年に「Tokotoko Farm (トコトコファーム)」を開園しました。

つくばみらい市に就農したいと相談した際に、4Hクラブや地元の農家さんを紹介してもらい、その時にできた人とのつながりが今でも大きな支えになっていると話



します。地産地消をすすめる学校給食に使われたり、つくばみらい市が主催する朝市「あさのいち」で販売したり、地域との関わりをもたことで“子どもたちに新鮮で健全な野菜を食べてもらいたい”という想いを実現できるようになりました。つくばみらい市の規模感だからこそ1人1人にスポットがあたる機会が多くあるし、人との交流が生まれているそうです。



1人1人に
スポットがあたる
機会がある

大木一真さん



電車1本で都内に出られるし、食べ物も新鮮な野菜が多い、大きな公園もある。移住してきた自分にとって住みやすく便利な場所だとつくばみらい市の魅力を話す田島さん。出身は牛久市ですが大学は東京、その後もSE (システムエンジニア)として都内で働き、東京に友人が多い田島さんにとって東京から近くて好きな農業ができるぴったりの土地がつくばみらい市です。

自分で農業をはじめる前に4年程下積みし準備をしてきましたが、いざやってみる



好きな農業が、
便利で住みやすい
環境でできる

田島健太郎さん



「あさのいち」とは…

毎月第1土曜日にどんぐり公園で行われる朝市。4Hクラブを中心とした農家さんから直接新鮮で安心な野菜やお米を買うことができます。雑貨販売や飲食販売なども行っています。

みらいの人

つくばみらい市で活躍する「人」にスポットをあて
なぜつくばみらい市を選んだのか、
今やっていること、つくばみらい市でやりたいことを
それぞれお聞きしました。

活躍するステージは違っても
「これからのつくばみらい市を自分たちが創っていく」
という想いは同じ。

一人一人の想いからつくばみらいの街づくりは始まっています。

ここにしかない魅力を みんなで伝えていきたい

紫咲大佳さん

ここつくばみらい市から宝塚音楽学校に入学し、宝塚歌劇団で活躍されてきた紫咲さん。2013年に生まれ育ったこの場所に戻りミュージカル教室「shizaki music space」を立ち上げます。子どもたちには自分の道を切り開く力を伝えたい、自己表現を通して自分や相手を知り多様性を認められる教室にしたいと話す紫咲さん。ご自身もミュージカルと出会い自由な世界を知り、無謀ともいわれた宝塚にはいる夢を自分自身を信じる力で叶えてきました。

教室では、歌、お芝居、ダンス、インプロゲーム(即興表現)を行っています



「つくばみらい市で育った子にしかもってない感性があるし、こんなに人が温かい環境はない」それが地元に戻り教室を開いた1番の理由です。昨年この生徒が1人宝塚音楽学校試験に見事合格した時は、自分の時以上に嬉しさがこみ上げてきたそうです。

ミュージカル教室の先生のほかにビジネストレーニング講師として専門学校や企業研

修でも活躍する紫咲さん。さらに今年の1月には大人の夢を叶える手助けをする事業も立ち上げました。色んなことにチャレンジをし続ける理由をたずねると「みんなでワクワクしたい、それだけなんです。やっぱりまわりの人達やふるさとへの感謝の気持ちがある。だから私も人と関わる活動を通して恩返しをしたい」と話します。



地域の多様な人達と ボクシングで交流がもてる

野口隆二さん

高校卒業と同時に地元の牛久市を離れてプロボクサーを目指し上京。その後都内にあるボクシングジム所属のプロボクサーとして4年間活躍した野口さん。引退後はIT関連の仕事に就き、つくばみらい市にはお子さんが生まれ、TXが開通し東京へのアクセスが良かったことにひかれて引っ越ししてきました。

子どもの父兄や地域の方にプロボクサーだった話をする「ボクシングを教えてほしい」という声が多く上がり、2016年に子どもからお年寄りまで初心者でも始められるボクシング教室「みらいbox」をスタート。シャドーボクシングやタッチゲームという実際には殴り合わずにボクシングの動きを学べるトレーニングが中心ですが、野口さんがミットを持ち、より本格的な練習することもあります。これまで幼稚園児から80歳のおじいちゃんにまでボクシングを教えてきた野口さん。ここでのコミュニケーションが新しい刺激にな

相手の肩や膝にタッチし、柔軟性をきたえるタッチゲーム



っており、将来はここからプロを目指す方向けにボクシングジムも立ち上げてみたいと話します。

つくばみらい市にきて街の変化を記録することが趣味になっているそうで、変わり続ける街の景色の中にも変わらない田園風景や筑波山の景観があるところにつくばみらい市ならではの魅力を感じています。



市民社会、 文化的な活動の 拠点の1つになりたい

武藤正道さん

ビートルズの曲のタイトルから名付けられた店名。壁にはレコードがズラリ。ここを人や文化がつながる拠点にしたいと、武藤さんご夫妻が「rock cafe GLASS ONION」をオープンしたのはちょうど10年前。はじめてこの土地を訪れた時に5年後10年後が楽しみになるような新しい街のエネルギーを感じとり、ここに家を建てカフェ営業をはじめまし

た。それぞれが得意料理を担当し2人の趣味を活かしたお店づくりにこだわっています。

せっかくカフェをやるなら「ここにくると何か面白いことがあるような場所にしたい」と始めたひとつがオープンステージという演奏会。ジャンルも年代もこえてお客様がごなただでも気軽に演奏できる自由なスタイルで月2回土曜の夜限定で開いてきました。ずっと演奏していなかった人がここでまた始めたり、ここで知り合った人たちでバンドを組んだり、そういう何かが生まれるきっかけになれることが嬉しいと話します。現在はコロナの影響で演奏会は自粛していますが、ドローイング教室、絵本づくりや読み聞かせのワークショップは状況に応じて開催しています。

自主的に活動される方も増えてきましたが、お店をはじめてまだ10年。ますますここでの交流が新しい街づくりの一部になっていけば良いし、これからの10年が楽しみです。

美大出身の武藤さんが描いたドローイングの作品



自分たちのしたいことを 叶えてくれる場所

西梶芳恵さん

「よしえちゃん」の愛称でバレエ教室の子どもたちから慕われている西梶芳恵さん。バレエダンサーとして活躍されたご主人・勝さんとバレエスタジオをつくば市で経営していましたが「子どもたちがのびのびできる、自分たちのバレエスタジオを建てたい」と5年前につくばみらい市に移住してきました。ベルギーにバレエ留学中の長女、野球少年の長

男、小学生になる次男、3人のお子さんを育てながら生徒から愛される先生として活躍しています。

「私たちが学んでいた時代は先生たちがすごく怖くて、子どもながらに不満があった」と話す西梶さん。この教室で大切にしていることは、子どもの自由な発想や個性を尊重し、色んなことに興味を持ってもらうこと。同じ目線にたって子どもたちの心が自由になるバレエを心がけているそうです。昨年はコロナの影響で発表会が中止になってしまい、今年は3年ぶりの発表会を予定しています。

つくばみらい市にきて、地域のさまざまなジャンルで活躍する人たちと出会い「ここは色んなことを自由にできる街なんだ」と視野が広がりました。「自分たちのしたいことができる環境にめぐまれているからこそ、これからも自分たちのバレエを追求していきたい」と話します。

つくばみらい、つくばの2つの教室では合わせて120名の生徒が在籍しています





おにぎり

平山英三文 / 平山和子 絵
福音館書店 / 990円

おにぎりといえば……、これに勝る絵本はないでしょう。まるで、目の前でおにぎりをにぎっているかのような錯覚におそわれます。おにぎりから上がる湯気の表現が最高。ご飯の熱々の温度を伝えてくれます。梅干しをみたらよだれがジュワーってしみ出してきてしまいます。



万次郎さんとおにぎり

本田いづみ文 / 北村人 絵
福音館書店 / 990円

田んぼにお米がたわわに実って、ついに収穫！さて、収穫したての新米。何にして食べましょう。万次郎さんはおにぎりにしたのです。ところが、そのおにぎりたちは逃げ出します。いったいどこへ？万次郎さんが追いかけた先でみたものは？いい物語なんです。



オニじゃないよ おにぎりだよ

シゲタサヤカ
えほんの杜 / 1,628円

おにぎりが大好物のオニたち。人間が落としていったおにぎりの味があまりにまずいので、おにぎりを作って街へやってきます。もちろん、おにぎりを食べてもらいたい一心で。だけど、オニに驚いた人間たちは逃げるばかり。さて、どうやったらおにぎりを食べてもらえるのでしょうか？



へんなおにぎり

長新太 さく
福音館書店 / 990円

もしかすると、なんでもにぎってしまえば、「おにぎり」になるのかもしれないよ。「おにぎり」ですものね、この絵本では、山やビルが、握られておにぎりのようになってしまっています。どうなっちゃうんだらうなあって読み進めていくと、最後にはなんとお母さんまでもが……。



そだててあそぼう6

イネの絵本

やまもとたかかず へん / もとくにこえ
農山漁村文化協会 / 2,750円

お米は毎日みているけど、イネはどうだろう？田んぼを眺めてるけど、そこにある植物のことは知っていますか？イネは世界の半分の人たちがその身を主食にしてる植物です。君たちは、その種子を食べて生きてる。イネにも花が咲きます。さて、君たちはみたことあるかな？



稲と日本人

甲斐信枝 さく / 佐藤洋一郎 監修
福音館書店 / 2,200円

稲が日本にやってきて2000年。日本人は、この植物と共に歴史を積み重ねてきました。国土を切り拓き水田にし、水を引くために灌漑をし、苦労を重ねて幾度も飢饉を乗り越え、生き延びてきたのです。稲と日本人は、ふかーい結びつきがあることに気がつかせてくれる一冊。



地球がうみだす土のはなし

大西健夫・龍澤彩文 / 西山竜平 絵
福音館書店 / 1,430円

大きな岩が崩れて、それがやがて土になる。そのことを知っている人は多いでしょう。さて、では、どれくらいの時間がかかるのでしょうか？その年月は、全部で100万年くらいかかるときもあるんだって。地球の営みが土をうみだし、土は植物や生き物すべてを養ってくれます。



地球を旅する水のはなし

大西健夫・龍澤彩文 / 曾我市太郎 絵
福音館書店 / 1,540円

水になってみたいなんて思うことがあります。気体になって漂ったり、固体になってじっとしていたり、液体になって形を持たずに流れに身を任せて流れたり。水は地球の上を駆け巡りながら、すべての命を活かす、生命の源のような存在です。かつ、旅し続ける感じがカッコいい。



ごはんはおいしい

ばくきよんみ文 / 鈴木理策 写真
福音館書店 / 1,760円

お茶碗のごはん。それはひとつひとつのお米です。お米は稲の実であり、種子になる。「ごはんはごはんになるまでいっぱいおはなしがあるんだよ」と詩人。そのお話を写真と共に、田んぼの傍から優しく語りかけられる。稲と一緒に四季がゆったり流れる一冊。



ごはん

平野恵理子 作
福音館書店 / 1,540円

ごはんだけでも美味しいのですが、そのごはんをもっと美味しく食べようと、ごはんにはそれはそれはたくさんの食べ方があります。きみは、どのような食べ方が好きですか？たまご卵かけご飯やなっとうご飯、炊き込みご飯やどんぶり飯、カレーライスやお寿司もいすすねえ。



ごはんたべよ

大阪YWCA千里子ども図書室 著 / 大塚いちおえ
福音館書店 / 880円

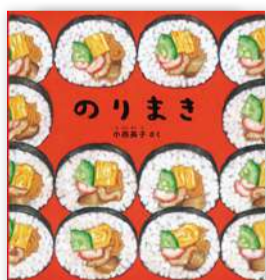
こどもと毎日の食事ができること。それって子育て中は何気ない日常かもしれませんが、やがては……。時にイライラしてしまうことかもしれませんが、ただただ一緒に食事ができることの喜びを忘れないようにしたいものです。ありふれた食事の風景が閉じ込められているお勧めの一冊です。



カレーライス

小西英子
福音館書店 / 990円

日本のルーカレーが好きです。ご飯をたくさん食べてしまいます。お米とカレーとの相性って抜群ですよ。小西英子さんのこの絵本は、本当に美味しそうにカレーを描いているので、読んでいるとついつい作りたくなってしまいます。ああ、食べたい。今晚の夕食は……。



のりまき

小西英子 作
福音館書店 / 990円

「おにぎりとは何が違うの？」と聞かれると、「いやいや、違うでしょー！」といつつも、何が違うのか答えに窮してしまうのりまき。おにぎりよりも手が混んでいるけど、パクッとお手軽な感じ。お寿司とおにぎりの中間みたいな感じなのかな。ああ、食べたい。



具材 ごっこ遊びを支える道具

子どもの生活と遊び研究会 作
庭プレス / 1,650円

やってみたくて、本物ではなかなかやらせてくれないこと。大人もそうですが、子どもたちにもっとたくさんあります。お寿司を握ってみたい。ラーメンの湯切りやフライパンで炒めてみたい、そんな願いを叶えてくれる、ごっこ遊びの具材たちが紹介された一冊です。



食育菜園 エディブル・スクールヤード

センター・フォー・エコリテラシー 著
家の光出版 / 2,090円

小学校や中学校の校庭に、大きな菜園をつくるエディブル・スクールヤード。アメリカのある中学校の5年間の活動をまとめた一冊です。家庭菜園や農業的な栽培とは違い、こどもたちがよく感じ、そして経験できるように作られた「食べられる校庭」。未来の学校の姿な気がします。



植物は〈知性〉をもっている

ステファノ・マンクーゾ、アレッサンドラ・ヴィオラ 著
NHK出版 / 1,980円

この本を読むと、身の回りにある植物たちの見え方が一気に変わる。イネたちは、水田に整列してお行儀よくすました顔をしているが、植物たちが〈知性〉をもってわたしたちを眺めてるとしたら……？植物たちって人間よりもはるか昔から地球上で繁栄してきた種族ですものね。



CHILD CARE

チェロを習うつもりじゃなかった

チェロを習い始めて1年が経った9歳の息子。ときどきお母さんが家でチェロを弾いていたことがきっかけです。親がすることなら何でもやってみて、真似したい。料理したり、ミシンをかけたたり、楽器を弾いたり。「じゃあ、ちょっと教室に行ってみる？」と通い始めたチェロ教室ですが、始めてみると毎日練習。教室の先生の口癖は「楽器は1日弾かないと取り戻すのに2日かかりますから」。楽しく練習できる日もあるし、疲れている日はやりたくなくてグズグズして、お母さんとケンカ。家中に険悪な空気が漂います。楽器の練習は嫌だった……という思い出がある方、多いのではないのでしょうか。

楽器に限らず、最初は苦しくても、それを乗り越えると楽しくなってくるもの。実際この1年で息子の演奏はとっても豊かになってきました。聴いているこちらも楽しくなる。僕は息子がやりたいことをやれば良いと思っているので、無理に練習させるつもりはありません。しかし、いつも息子の声に耳を傾ける妻が、どういうわけかチェロの練習に関しては厳しい。その先に訪れる楽しさを知っている

んでしょうね、きっと。妻には「どうしてもっと関わらないの？」と詰め寄られ、息子には「チェロはお母さんがやりたいことですよ。僕がやりたいわけじゃないのに……」と涙ながらに訴えかけられる。さてさて。

仲の良いふたりが、チェロが原因で喧嘩し続けているのを見ていられなくなって、ふたりが楽しい落としどころを探ってみることにしました。もともと妻が連れて行っていた毎週のレッスンは僕が行くことに。何もわかっていないお父さんが付き添っているくらいが息子にとっては心地よいようです。そして、家ではときどき息子と一緒に練習しています。間違いを的確に指摘する先生みたいなお母さんと練習するよりも、自分が先生になって僕に教える方が楽しいようです。思いがけず僕が息子にチェロを教えることになった訳です。練習した日はスタンプがもらえます。



佐々木信(ささきしん)

3KG代表。学生時代は札幌のミニシアターで映写技師として勤務。サッポロスマイルや、AIR DOのマスコットキャラクター、ベア・ドゥをデザインしました。



GAME

全身をつかう、ちょっと変わったカードゲーム

コブタがいろんなポーズをしているカードが16種類2枚ずつあります。1人ずつカードを他の人に見えないようにめくり、そのカードのコブタと同じポーズをしよう。他のプレイヤーはそのポーズが描かれたカードを誰よりも早く探すとカードがもらえる。片足で立つ、手をまわす、ジャンプする……などなど。みんなより上手にポーズができるかな？ からだ全部を使って遊んでね。



コブタの体操ゲーム

4歳～ / 2～6人 / ¥2,750

PEOPLE

つくばみらいの人2 伊奈忠治

川の改修に貢献した民政家

伊奈忠治は、徳川幕府で治水・灌漑工事を担当した伊奈忠次の次男として生まれました。あだ名は「半十郎」。34歳という若さで亡くなった兄・忠政に代わり父の仕事を受け継いだ忠治は、関八州の治水工事や河川改修を行い、荒川や江戸川の開削に携わりました。江戸初期における利根川東遷事業の多くが忠治の業績です。水害が多かった鬼怒川と小貝川を分流し、谷原領一帯を干拓。新田開発にも力を入れた、現代に続く地域発展の礎を築いた人物として知られています。旧筑波郡伊奈町の町名は伊奈家の名前に由来し、忠治は伊奈神社に祭神として祀られています。



MOVIE

行政の方へ怒鳴ることから始まった にしかん



2016年から2018年までの3年間、武蔵野美術大学の教員たちと一緒に新潟を舞台にした3本の映画をつくった。3本ともドラマ映画だが、思い返すと、この映画づくりにも様々な人間ドラマがあった。

いきなり最初の会議からエピソードがある。大学で教鞭をとっている私に新潟のPR映像をつくって欲しいという依頼があって、区役所の方々と会うことになった。会議の席で、話を聞いているうちに予想に反してワナワナとし始め(子供っぽくて申し訳ない)私は思わず机を叩き「映像をナメてます。帰ってください」と言ってしまった。何をPRしたいのかと問えば「何もない」と答え、予算はどのくらいかと問えばアルバイトのお給料かと思うほどのものだった。学生につくらせれば安く上がりそう、という安易な姿勢が見え隠れして腹が立った。学生たちに依頼する前に大人たちの姿勢を正すべきだと思った。

怒鳴ってしまった後、「ああ、この話は消えてしまったなあ」と自ら依頼を潰してしまったことに流石に落ち込んでいたら数ヶ月後。その会議に出席していた担当者からもう一度話を聞いてくださいと連絡をいただいた。この時点で私は「お請けしよう」と心に決めた。普通なら他を当たって当然だ。そしてあらためて設けられた会議の席上で「現代の日本の人々が忘れかけた豊かさ。生きる厳しさのそばに寄り添う優しさ」を描こうと「映画」をつくることになった。

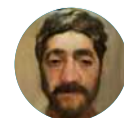


「映画か、これは大変だ。」と思った。早速自分の大学の映像のクラスに話を持ち込んだ。地方創生や活性ということにはまだまだ興味を持ってない世代たちだ。しかし、映画というものを一度はつくってみたいと思っているメンツたち。彼らに地方を抱える問題を共有しても、そこから湧き出てくるものはきっとリアリティのないものになるだろう。だとしたら新潟へ連れて行って映画づくりを通して楽しむことが、彼らにとってもいい記憶となって残ると考えた。学生作品だから、という言い訳をしないためにも、私が普段映像の仕事で進めるプロセスをそのまま持ち込んだ。

シナリオハンティング、原作の執筆、脚本、オーディション。役者のオーディションでは小平の片田舎の大学に20人ほどの役者がやってきてそれぞれその役を手にしようと思死に演技をする姿が教室で繰り広げられた。この時学生たちは「あ、大人たち、本気だ。」と思ったはずだ。空気が変わってきた。集まってくれた役者は3人。引く手あまたのモデルのるうちちゃん(芝居のお仕事への意欲がすごかった)、劇団昴からベテランの西村武純さん、若手の注目株の桑原良太くん。



そしていざ、撮影。4Kカメラ2台、ドローンをはじめ照明、音声、衣装、メイク。20人近いスタッフで撮影が行われた。監督は監督志望で手を挙げた学生三人という構成。シーンごとに監督した。その後の編集、MA(音響)、カラーグレーディング(仕上げ)、そして主題歌を学生が作詞作曲しスタジオミュージシャンに演奏してもらいながら録音した。さらにはポスター製作、宣伝、上映会まで。きっちり映画づくりをなぞらえていった。そうして新潟県新潟市西蒲区の映画「にしかん」が出来上がった。学生たちの「ここまでやるのか!？」という驚きや、呆れや、疲れを包みながら達成感に満ちた完成品は新潟で上映会を開催し、500人を超える地元の方が足を運んでいた。



菱川勢一(ひしかわせいichi)

1969年東京生まれ。映画監督/写真家/演出家/クリエイティブディレクター/武蔵野美術大学教授。主な仕事にNHK大河ドラマ「功名が辻」、「八重の桜」、子供教育番組「JAPANGLE」など。2020年新作映画「新青春」を撮りました。未来新聞編集長。



みらいのゴルフ

つくばみらい市には4つのゴルフ場があり、高速道路やつくばエクスプレスといった利便性の良さから、プロゴルフツアーの開催や市外からの利用者が増加し、ゴルフがつくばみらい市の“強み”であることはご存知でしょうか？市内にもゴルフ愛好家は多いですが一方で、ゴルフはちょっと敷居が高い……なんて思っている方もまた多いかもしれません。

この“強み”を活かそう！と、つくばみらい市がいま取り組んでいるのが、「スナッグゴルフ」です。「スナッグゴルフ」は、アメリカ人ゴルフプレイヤーが6年の歳月を費やして開発したスポーツで、やさしく・正確に・どこでも・だれでも、ゴルフの基本を学ぶ事・教えることができる新しいゴルフです。子供から大人まで楽しくゴルフの基本を身につけることができ、広さが限られた場所でも十分に楽しむことができます。

市では今、この「スナッグゴルフ」のスクールセットを市内の公立小学校に寄贈し、ゴルフをもっと身近に楽しんでもらい、ゴルフ場やプロゴルファーとも協力して、市の“強み”を活かしていけたらと努力しています。小学生からゴルフに親しみ、夢や希望を持ち、そこから世界に羽ばたく“みらいのゴルフ人”が生まれれば、そのようなまちづくりができればと考えています。

みらいのいちいん



2021年、「スナッグゴルフクラブ」を創設

小学校には、特別活動の一つにクラブ活動があります。クラブ活動とは、学年や学級を離れて4年生以上の児童が共通の興味・関心を追求する活動です。昨年度まで小絹小学校には約15のクラブがありましたが、今年度、市から用具などを提供していただいたことをきっかけに、是非、子どもたちにスナッグゴルフを体験してもらいたいという思いで「スナッグゴルフクラブ」を創設しました。

大久保正美先生
つくばみらい市立小絹小学校
教頭

クラブ活動を通して期待していること

クラブ活動には、「望ましい人間関係を形成し、個性の伸長を図り、集団の一人として協力してより良いクラブ作りに参画する態度を育てる」という目的があります。今まで、ゴルフと言えば、子どもたちにとって「大人のスポーツ」というイメージがあったかもしれません。小学校のクラブ活動の経験が、中学校の部活動や将来の趣味や職業へと発展することも考えられることから、このスナッグゴルフがゴルフを始めるきっかけとなればと考えています。先日、アジア人として初めてマスターズを制し、グリーンジャケットに袖を通した松山英樹選手のようなゴルファーが、つくばみらい市から誕生することも夢ではないと思います。

クラブ活動のみらい

子どもたちがゴルフというスポーツに出会うことは、道具や技能、環境などの面を考えると簡単なことではありません。しかし、スナッグゴルフは、ゴルフの基本的な技術やルールを易しく楽しく学ぶことができます。また、環境面においても、グラウンドや体育館などのスペースで簡単にプレーすることができます。今後、小学校でのスナッグゴルフ体験を通して、ゴルフを感じ、生涯スポーツの一環としてゴルフを愛する子どもたちが増えていくことを願っています。

QUIZ



文字を入れ替えて、正しい言葉を完成させよう。君に解けるかな？ がんばってね。



松島諒 (まつしまりょう)

札幌を拠点に活動するラッパー。2014年のMCバトルUMB全国大会ではベスト8。ヒップホップ専門ネットラジオ局WREPLにて毎週月曜日22時から「松島諒のTO INFINITY AND BEYOND」放送中。

からめるでたじ

Blank boxes for the word 'からめるでたじ'

びげあちなはう

Blank boxes for the word 'びげあちなはう'

だごしたらみん

Blank boxes for the word 'だごしたらみん'

わんでいけいた

Blank boxes for the word 'わんでいけいた'

うそいじらおた

Blank boxes for the word 'うそいじらおた'

うそだんりいじ

Blank boxes for the word 'うそだんりいじ'

STORY

ちいさいどうくん ①

さきつむぎ文・絵

ちいさいぞうのどうくんは、いつもともだちにいじめられていました。そのころともだちのおとうさんやどうくんのおとうさんはたたかっていた。そこでどうくんはおとうさんのところへきました。(つづく)



虫めがね日記

朝起きたら、たんぼになってたの、びっくりして、声を出さずじまつたまま。口も舌もないから、わたしは音も出さずじまつたまま。一番も話せない。最初はとっても悲しいなって思ったんだけど、少し経ったら、何も話さなくてもいいなって思いついた。聞かなくてもいいの、だって、わたしはたんぼになんたの。...

FAMILY



Day 255 さつきちゃんの育児日記 ~床の上探検隊 探索活動のはじまり~

ずり這いから、あつというまに猛スピードで移動できるようになりました。目的のものまでまっすぐに進み、たどり着いたらそこで座って、両手を自由にして拾い上げます。ふったり、なめたり、ながめたり。気をつけないと虫でもなんでも舐めてしまいます。あんなにぐにやぐにやしてたのに、座るという安定した状態を維持できるなんて急激！自分の気になるものを真剣に追い求めて、じっくり観察して堪能している様子。お座りのいいところは、安定して両手が自由に使えること。そして、視野が垂直方向にほんの少し高くなること。赤ちゃんにとっては見えなかった景色がぐつと開けて、遠くまで見渡せる感じかも。興味関心は広がり続けます。

9ヶ月の娘が夢中になっているのがプラステンというおもちゃ。5本の棒に50個のリングがささっています。今、娘は、棒からリングをはずすことに熱中しています。床に散らばったままのリングたち…… そのうちいれることに気がつき、夢中になるでしょう。大人が見ると「そんなことをして面白いの？」と思うようなことでも、こどもにとってはできるようになることが嬉しいようです。はずす、いれるの次には色に気がきます。色を揃えて入れる、交互に入れる。床に並べて模様を作る、ままごとに使うなど、プラステンは遊びの幅がとても広い！もちろんその名の通り、5桁の数字を考えることに使うこともできます。乳児期から小学生まで長くこどもに寄り添うおもちゃ。シンプルなデザインですが、これぞおもちゃ！というにふさわしい一品です。



PLUS10 NIC社/ ¥7,020

FASHION



たのしいソーイング

文・写真 佐々木智子

私は縫い物や編み物が趣味で、ときどきこどもの服を作ります。時間をかけてじっくり洋服を作るよりも、思いつきでぱっと作れるようなものが得意。既製品をアレンジするのも好きです。今回はこどものTシャツのアレンジを紹介します。息子が1〜3歳くらいの頃は、よくTシャツに手を加えていました。小さい頃はぐんぐん体が大きくなり洋服はあつという間に着れなくなっていきます。70→80→90cmとみるみるサイズが変わり、1年も経たずに着られなくなる洋服もたくさん……。そこで思いついたのが小さくなったTシャツの裾を付け足して丈を伸ばす方法です。お腹が見え隠れしたTシャツも、これでまたしばらく着られるようになります。材料はTシャツ2枚(本体になるもの1枚と、付け足し用を1枚)。

写真の真ん中のTシャツのように半袖に長袖を付け足すこともできます。長袖を適当な長さで切って縫い、半袖にするのも良いし季節に合わせて自由にアレンジしてみてください。

もうひとつのおすすめはフェルトのアップリケです。材料はアイロンで接着できるフェルトと刺しゅう糸。作り方はまずフェルトを好きな形に切りぬきます。絵柄は絵本の中からこどもと一緒に選ぶと楽しいです。絵柄に線を入れる場合は刺しゅうをしてから、アイロンで接着。Tシャツはたくさん洗濯するので接着したら上から縫い付けておきましょう。小さなこどもにもお気に入りの絵柄が付いている服は一目でわかるので、保育園の着替え用にも便利です。ひと工夫、ひと手間加えて楽しいオリジナルTシャツ。ぜひ作ってみてくださいね。

令和3年度は「育」の年 一歩ずつ着実に歩む 小川浩 つくばみらい市長 今年(うし)の干支は「丑」です。丑年は、先を急がず一歩一歩着実に物事を前に進めることで、将来の成功につながっていく年と言われています。私は今年の抱負を「育」の一字で表現しました。これまで蒔いてきた種が少しずつ芽を出してきた、その芽を大切に育てていく1年にしたいという思いを、この「育」という字に込めています。

編集後記

「みらい」というと、映画や空想の世界のように、自動車が空を飛んでいるような、そんなSF的な状況を思い浮かべていたのは、遙か「過去」。もはや「みらい」は、「今」だ、と最近思うのです。今回の取材を通して、ある意味こんなに近い場所に「みらい」はあったんだと、同じ関東圏に住む僕にとっても、とても羨ましく思いました。(ライター・神藤秀人)



未来新聞は、つくばみらいのコミュニティ新聞です。

電話：0297-58-2111 (代表) FAX：0297-58-5611

伊奈庁舎 ☎300-2395 茨城県つくばみらい市福田195番地 谷和原庁舎 ☎300-2492 茨城県つくばみらい市加藤237番地

https://www.city.tsukubamirai.lg.jp

発行日：2021年8月1日(日) 発行元：つくばみらい市

This land will be **CREATED BY TAKASAGO.**

